

令和六年度採用 特別支援

教科(科目)	特別支援
受験番号	

□ 次の文章を読んで、後の(1)～(2)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(出典 岡嶋裕史 著 「メタバースとは何か ネット上の『もう一つの世界』」)

(1) 本文中の「ア」～「エ」に入る言葉の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は1。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|-----|---|-----|
| ① | ア | そして | イ | つまり | ウ | また | エ | しかし |
| ② | ア | しかし | イ | ところが | ウ | しかも | エ | だから |
| ③ | ア | つまり | イ | また | ウ | だから | エ | 一方で |
| ④ | ア | また | イ | そして | ウ | つまり | エ | すると |
| ⑤ | ア | そして | イ | すると | ウ | 一方で | エ | しかも |

(2) 次のア～オについて、本文に書かれている内容の組合せとして適切なものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は1。

ア 多様性と包摂の精神に則って社会全体が営まれてきたことによつて、現代では、人間の根源的な欲求である、コミュニケーションと承認が失われつつある日本社会へと変化してきた。

イ 自由には責任が伴うものの、選択できることが増えたことにより、価値そのものが多様化した。それは社会において負けを意味し、自分の生活圏がリアルでなくとも構わない人が増えた。

ウ 皆が依拠している価値観が存在するだけでなく、正解が多数ある社会、自分なりの正解を見つけて生きていくことが推奨される世の中であるため、自分の生き方の再構築をする必要がある。

エ コミュニケーションで生じたトラブルは当事者同士で解決する必要があるものの、そこに承認と権利強化が寄与する。その一方で、個人の行動は制約を受けることにもつながってしまう。

オ 個人の自由の拡大によつて、リアルな社会は自由を謳歌できる少数の強い人には居心地よいものであるが、個人の自由拡大と権利強化により、コミュニケーションは難しいものとなった。

- ① ア・イ ② ア・ウ ③ イ・エ ④ ウ・オ ⑤ エ・オ

- (3) 次の地図中のア～オの県の気候・産業の特色について説明した文として正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

- ① アの県では暖かい気候を生かして、冬でもビニールハウスで施設園芸農業を行っている。畜産が盛んであり、豚肉や鶏肉など全国で有数の出荷量となっている。
- ② イの県では温暖な気候と豊富な雨量を生かして稲作が盛んである。丘陵地では、ぶどうや桃の栽培が盛んで、全国有数の出荷量となっている。
- ③ ウの県では、冬に日本海側からの寒く湿った空気が流入することで雪が深い。世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の対象地域である白川村には、屋根を急角度にして雪が多く積もらないように工夫した特徴的な住居が見られる。
- ④ エの県では日本海から湿った空気が流れ込むため冬に降水量が多く、豊富な雪解け水を利用して稲作が行われており、全国有数の米どころとなっている。そのため米を原料とする餅や米菓、清酒などの生産量も多い。
- ⑤ オの県では、冬は寒さも厳しく0度を下回る日が多くなっている。りんごの他に、ごぼう、にんにくの栽培が盛んで、全国で有数の出荷量となっている。

- (4) 次の年表中のア～エに起きたそれぞれの出来事について述べた、下のア～エの文のうち、正しいものを「正」、誤っているものを「誤」とした場合、正しい組合せはどれか。下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

年 代	出 来 事
1167年	平清盛が太政大臣に就任した ↓ ア
1274年	文永の役（元寇）が起こった ↓ イ
1392年	南北朝が合体した ↓ ウ
1582年	本能寺の変が起こった ↓ エ
1603年	江戸幕府が開かれた

ア 平清盛は、瀬戸内海の航路を整備して、中国の明と交易をおこなった。明の通貨である銅銭を大量に輸入し、貨幣として使用したことで、日本でも貨幣経済が発展した。

イ 肥後国の御家人であった竹崎季長は、蒙古襲来絵詞に自分が戦う姿を描かせた。その中で元軍が火薬を使った「てつほう」を用いている様子が描かれている。

ウ 室町幕府の征夷大將軍であった足利義満は、安定した国内の政情を背景に、中国の清と交易した。足利義満が発出した朱印状をもち、交易していたことから、朱印船貿易と呼ばれた。

エ 豊臣秀吉は、面積や柵の単位を統一し、獲得した領地で検地を行い、検地帳をつくらせた。京都付近で使われた1升柵を基準の柵として採用した。

	ア	イ	ウ	エ
①	正	正	誤	正
②	正	誤	誤	正
③	誤	正	誤	正
④	誤	誤	正	誤
⑤	誤	正	正	誤

(5) 2次不等式 $x^2 + kx + 2k - 3 > 0$ の解が、すべての実数であるときの定数 k の値の範囲を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ① $-3 < k < 1$
- ② $k < -3, 1 < k$
- ③ $2 < k < 6$
- ④ $k < 2, 6 < k$
- ⑤ $-3 < k < 6$

(6) 2直線 $y = \frac{1}{2}x + 1$, $y = 3x - 1$ のなす鋭角 θ を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

- ① $\frac{\pi}{6}$
- ② $\frac{\pi}{3}$
- ③ $\frac{\pi}{5}$
- ④ $\frac{\pi}{8}$
- ⑤ $\frac{\pi}{4}$

(7) 直線 $2x - y - 3 = 0$ を l とする。直線 l に関して、点 $P(1, 4)$ と対称な点 Q の座標を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

- ① $(7, 0)$
- ② $(6, 1)$
- ③ $(5, 2)$
- ④ $(4, 3)$
- ⑤ $(3, 4)$

(8) 次の図のような電解装置にうすい塩酸を入れ、電源装置とつなぎ、5Vの電圧を加えた。一方の電極で気体が装置の半分くらいまで集まったら、電圧を加えるのをやめた。それぞれの電極で発生した気体を調べたところ、陰極から発生する気体は、マッチの炎を近づけると音を立てて燃えた。陽極から発生する気体に水性ペンで色をつけたろ紙を近づけると色が消えた。この電気分解の化学反応式として最も適切なものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① $2\text{HCl} \rightarrow \text{H}_2 + 2\text{Cl}$
- ② $\text{H}_2\text{Cl}_2 \rightarrow \text{H}_2 + \text{Cl}_2$
- ③ $\text{HCl} \rightarrow \text{H} + \text{Cl}$
- ④ $2\text{HCl} \rightarrow 2\text{H} + 2\text{Cl}$
- ⑤ $2\text{HCl} \rightarrow \text{H}_2 + \text{Cl}_2$

(9) 次の表は、それぞれの気温に対する飽和水蒸気量を示したものである。気温 30°C の空気 1 m^3 中に質量 9.4 g の水蒸気が含まれているときの湿度として最も適切なものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

気温 ($^{\circ}\text{C}$)	飽和水蒸気量 (g/m^3)	気温 ($^{\circ}\text{C}$)	飽和水蒸気量 (g/m^3)	気温 ($^{\circ}\text{C}$)	飽和水蒸気量 (g/m^3)
1	5.2	11	10.0	21	18.3
2	5.6	12	10.7	22	19.4
3	5.9	13	11.4	23	20.6
4	6.4	14	12.1	24	21.8
5	6.8	15	12.8	25	23.1
6	7.3	16	13.6	26	24.4
7	7.8	17	14.5	27	25.8
8	8.3	18	15.4	28	27.2
9	8.8	19	16.3	29	28.8
10	9.4	20	17.3	30	30.4

- ① 3.2% ② 9.4% ③ 30.4% ④ 30.9% ⑤ 33.3%

(10) 次の楽譜は第3学年の共通教材「うさぎ」の一部である。アに当てはまる歌詞と旋律の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

①

②

③

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

④

⑤

- (11) 次の図は、両刃のこぎりの刃の形状 A 及び B と、それぞれの刃を使って木材を切る方向ア、イ、ウを示したものである。A、B の名称と木材を切る方向について正しいものを、下の①～⑤の中から二つ選べ。解答番号は21。

A	著作権保護の観点により、掲載いたしません。
B	

切る方向

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① A は縦びき刃、B は横びき刃である。
- ② A は横びき刃、B は縦びき刃である。
- ③ アの方向に切る場合は縦びき刃を使い、イとウの方向に切る場合は横びき刃を使う。
- ④ アの方向に切る場合は横びき刃を使い、イとウの方向に切る場合は縦びき刃を使う。
- ⑤ アとウの方向に切る場合は縦びき刃を使い、イの方向に切る場合は横びき刃を使う。

(12) 次の文章は、「小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック 高学年」（文部科学省）の器械運動・マット運動に示されている運動と動きのポイントの記述である。（a）～（e）に入る技の名称の組合せを、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

（a）…しゃがみ立ちの姿勢から尻を着いて後方に回転します。足先が頭を越したら脚を開き、手の近くに足を着けます。最後に両手でマットを押して開脚立ちをします。

（b）…腰を高く保ちながら踏み出した足と同じ側の手を着きます。逆の足を勢いよく振り上げます。後から着いた手で突き放し、片足ずつ着地します。

（c）…両足で踏み切って、体を空中に投げ出し、腰を大きく開きます。続いて、両手でマットに着手して体を受けとめ、あごを引き、体をまるくして前転します。

（d）…立位の姿勢から膝を伸ばしたまま前屈姿勢になって後方に体重を移動させます。すばやく着手するとともに尻を着き、あごをしっかり引いて一気に両足を後方にひきよせ、両手で体を強く押して後転します。

（e）…ホップしてから側方倒立回転に移り、倒立姿勢になったところで体を1/4ひねり、両手を押し、両足をそろえて後向きになって着地します。

- | | | | |
|---|--------|----------|---------|
| ① | a 伸膝後転 | b 側方倒立回転 | c 跳び前転 |
| | d 開脚後転 | e ロンダート | |
| ② | a 伸膝後転 | b 側方倒立回転 | c 大きな前転 |
| | d 開脚後転 | e ロンダート | |
| ③ | a 開脚後転 | b 側方倒立回転 | c 跳び前転 |
| | d 伸膝後転 | e ロンダート | |
| ④ | a 開脚後転 | b ロンダート | c 跳び前転 |
| | d 伸膝後転 | e 側方倒立回転 | |
| ⑤ | a 開脚後転 | b ロンダート | c 大きな前転 |
| | d 伸膝後転 | e 側方倒立回転 | |

(13) 食品に含まれる栄養素の働きについて、次の食品ア～コを3つのグループに分類したとき、正しい組合せを、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

ア りんご イ 牛乳 ウ もち エ しいたけ
 オ じゃがいも カ 豆腐 キ ほうれんそう ク 卵
 ケ バター コ 砂糖

	主に体をつくるもとになる	主にエネルギーのもとになる	主に体の調子を整える
①	イ・キ・ケ	ア・ウ・カ・コ	エ・オ・ク
②	ウ・エ・ケ・コ	オ・カ	ア・イ・キ・ク
③	カ・ク・ケ	イ・ウ・オ・コ	ア・エ・キ
④	イ・カ・ク	ウ・オ・ケ・コ	ア・エ・キ
⑤	カ・ク	イ・ウ・ケ・コ	ア・エ・オ・キ

(14) 次の日本語文の意味を表すように、() に当てはまる最も適切な語を、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

I made him () for two hours due to an accident.
事故のせいで、私は彼を2時間も待たせてしまった。

- ① wait
- ② waited
- ③ waiting
- ④ to wait
- ⑤ have been waited

(15) 次の英文は、カレーについての話である。□の中の英文(A)～(D)を文章の意味がとおるように並び替えたとき、第2文と第3文の組合せとして適切なものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (A)
- (B)
- (C)
- (D)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	第2文	第3文
①	(A)	(B)
②	(A)	(D)
③	(B)	(A)
④	(B)	(C)
⑤	(C)	(D)

2 次の文は、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）に示された、第八章 特別支援教育 第二百二十六条及び第三百十一条から、教育課程の取り扱いについて、内容の一部を抜粋したものである。ア～オに当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

第二百二十六条

2 前項の規定にかかわらず、である児童を教育する場合は、, 国語, 算数, 音楽, 図画工作及び体育の各教科, 特別の教科である道徳, 特別活動並びに自立活動によつて教育課程を編成するものとする。ただし, 必要がある場合には, を加えて教育課程を編成することができる。

第三百十一条 特別支援学校の小学部, 中学部又は高等部において, 児童若しくは生徒を教育する場合又は教員を派遣して教育を行う場合において, 特に必要があるときは, 第二百二十六条から第二百二十九条までの規定にかかわらず, によることができる。

- | | | | |
|---|------------------|----------|-----------|
| ① | ア 知的障害者 | イ 生活 | ウ 外国語活動 |
| | エ 複数の種類の障害を併せ有する | | オ 特別の教育課程 |
| ② | ア 身体障害者 | イ 生活 | ウ 外国語 |
| | エ 病弱を併せ有する | | オ 特別の指導形態 |
| ③ | ア 知的障害者 | イ 生活 | ウ 外国語 |
| | エ 複数の種類の障害を併せ有する | | オ 特別の指導形態 |
| ④ | ア 身体障害者 | イ 生活単元学習 | ウ 外国語活動 |
| | エ 病弱を併せ有する | | オ 特別の教育課程 |
| ⑤ | ア 知的障害者 | イ 生活単元学習 | ウ 外国語活動 |
| | エ 病弱を併せ有する | | オ 特別の教育課程 |

3 次の文は、特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）に示された、第1章 総則 第4節 教育課程の実施と学習評価から、各教科等の指導に当たっての配慮事項について、内容の一部を抜粋したものである。内容に**該当しないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。**ただし、内容に①～⑤のすべてが該当する場合は⑥を選べ。**解答番号は27。

- ① 児童又は生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるよう工夫すること。
- ② 児童又は生徒が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。
- ③ 児童又は生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童又は生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。
- ④ 学校がその目的を達成するため、学校や地域の実態等に応じ、教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制を家庭や地域の人々の協力を得ながら整えるなど、家庭や地域社会との連携及び協働を深めること。
- ⑤ 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童又は生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童又は生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。また、地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

4 次の文は、特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）に示された、第4章 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科 第2節 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の特徴について 3 指導の形態について (3) 各教科等を合わせて指導を行う場合 【各教科等を合わせた指導の特徴と留意点】ア 日常生活の指導から、内容の一部を抜粋したものである。内容に該当しないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、内容に①～⑤のすべてが該当する場合は⑥を選べ。解答番号は28。

- ① 日常生活や学習の自然な流れに沿い、その活動を実際的で必然性のある状況下で取り組むことにより、生活や学習の文脈に即した学習ができるようにすること。
- ② 学校と家庭等とが連携を図り、児童生徒が学校で取り組んでいること、また家庭等でこれまで取り組んできたことなどの双方向で学習状況等を共有し、指導の充実を図るようにすること。
- ③ 毎日反復して行い、望ましい生活習慣の形成を図るものであり、繰り返しながら取り組むことにより習慣化していく指導の段階を経て、発展的な内容を取り扱うようにすること。
- ④ できつつあることや意欲的な面を考慮し、適切な支援を行うとともに、生活上の目標を達成していくために、学習状況等に応じて課題を細分化して段階的な指導ができるものであること。
- ⑤ 指導場面や集団の大きさなど、活動の特徴を踏まえ、個々の実態に即した効果的な指導ができるよう計画されていること。

- 5 次の文は、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）に示された、第3章 自立活動の意義と指導の基本 2 自立活動の指導の基本から、自立活動の指導の特色について、内容の一部を抜粋したものである。ア～オに当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

自立活動の指導は、個々の幼児児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を しようとする取組を促す教育活動であり、個々の幼児児童生徒の 及び 等に即して指導を行うことが基本である。そのため、自立活動の指導に当たっては、個々の幼児児童生徒の的確な に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、個別に指導目標（ねらい）や具体的な指導内容を定めた が作成されている。

- | | | | |
|---|-------------------------|---------------------------|-----------------------|
| ① | ア 主体的に改善・克服
エ アセスメント | イ 障害の種類や特徴
オ 個別の教育支援計画 | ウ 心身の発達の段階
ウ 心理の状態 |
| ② | ア 自発的に改善・克服
エ 実態把握 | イ 障害の種類や特徴
オ 個別の指導計画 | ウ 心理の状態 |
| ③ | ア 主体的に改善・克服
エ 実態把握 | イ 障害の状態や特性
オ 個別の指導計画 | ウ 心身の発達の段階 |
| ④ | ア 自発的に改善・克服
エ アセスメント | イ 障害の種類や特徴
オ 個別の教育支援計画 | ウ 心理の状態 |
| ⑤ | ア 主体的に改善・克服
エ アセスメント | イ 障害の状態や特性
オ 個別の指導計画 | ウ 心身の発達の段階 |

6 次の文は、令和3年1月26日に取りまとめられた中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』に示された、第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について（4）関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実について、内容の一部を抜粋したものである。内容に**該当しないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、内容に**①～⑤のすべてが該当する場合は⑥を選べ**。解答番号は30。

- ① 特別な支援が必要な子供やその保護者については、乳幼児期から学齢期、社会参加に至るまで、地域で切れ目ない支援を受けられるような支援体制の整備を行うことが重要である。
- ② 特別な支援が必要な子供に対して、幼児教育段階からの一貫した支援を充実する観点からも保健・医療・福祉・教育部局と家庭との一層の連携や、保護者も含めた情報共有や保護者支援のための具体的な連携体制の整備を進める必要がある。
- ③ 特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。
- ④ 特別支援教育を受けてきた子供の指導や合理的配慮の状況等を、個別の教育支援計画等を活用し、学校間で適切に引き継ぎ、各学校における障害に配慮した適切な指導につなげることが重要である。
- ⑤ 目の前の子供の障害の状態等により、障害による学習上又は生活上の困難さが異なることを理解し、個に応じた分かりやすい指導内容や指導方法の工夫を検討し、子供が意欲的に課題に取り組めるようにすることが重要である。その際、困難さに対する配慮等が明確にならない場合などは、専門的な助言又は援助を要請したりするなどして、主体的に問題を解決していくことができる資質や能力が求められる。

